

## 平成28年度 会費の決算状況について

平成28年度の会費部門における収入としては、会費収入が昨年度比で約42万円の収入減の約996万円となりました。会員数は年間通じて少し減少となりました。

一方、支出については、人件費としては計上していませんが、事務費で法人本部の職員が兼務で事務を行っていることから、事務費の手数料の科目に日相当額を費用として計上しています。

最終的には収支差額として、「当期資金収支差額合計(11)」では、約68万円を計上することができました。

29年度は近畿大会の開催を控えていることから、繰越金も活用しながら近畿大会の開催準備を進めていきます。

## 平成28年度 決算について

7ページに記載の資金収支計算書を用いて決算状況について解説します。

28年度では、法人全体としては「事業活動による収支」の「収入の部」の合計である「事業活動収入計(1)」は、約8億9,173万円となり、「支出の部」の合計である「事業活動支出計(2)」は約9億899万円となり、収入と支出の差を表している「事業活動資金収支差額(3)」では、約1,725万円の支出超過となりました。支出超過となっていますが、平成28年度も施設整備等積立金を取り崩して大規模な施設改修工事を実施しており、東成育成園で約1,000万円、港エリアで約4,000万円、合計約5,000万円で臨時的支出であります。会計処理上で経常的な経費科目の事務費支出となっているため、事業活動支出に含まれております。

なお、この大規模修繕にかかる5,000万円は通常の事業活動支出に含まれないものと考え、実質的な事業活動資金収支差額は、約3,200万円の黒字であったこととなります。

次に「施設整備等による収支」の「施設整備等資金収支差額(6)」では約250万円の支出超過に、「その他の活動による収支」の「その他の活動資金収支差額(9)」では約3,662万円の支出超過となりました。

最終的に「当期資金収支差額合計(11)」は約7,894万円の支出超過となりました。当年度収支が大幅な赤字となった理由ですが、各施設の繰越金を将来に備えた施設整備等積立金に振り替えました。その金額が約8,000万円あり、これがその他の活動支出の積立資産支出に計上されているため、実際に8,000万円の赤字になったわけではありません。実際には、施設運営などの社会福祉事業で約620万円、会員事業などの公益事業で70万円あり、法人全体では690万円の黒字となりましたが、平成27年度の決算では、約3,500万円の黒字を計上していたので、厳しい経営状況になっています。

主な要因としましては、大阪市親子通所委託事業が終結したこと、各施設の利用者数減少などにより全体的に収入は減少している一方で、27年度から再開した正規職員の採用及び定期昇給などにより、人件費が増加傾向にあります。

今後は、中長期的な経営計画を策定し、役職員一丸となって健全な法人運営を目指してまいりたいと考えております。

大阪市手をつなぐ育成会(会費事業) 資金収支計算書  
(自)平成28年4月1日 (至)平成29年3月31日(単位:円)

勘定科目		金額	
事業活動による収支	収入	經常経費補助金収入	559,380
		利用者負担金収入	1,891,146
		会費収入	9,963,060
		受取利息配当金収入	750
		その他の収入	1,500
		事業活動収入計(1)	12,415,836
	支出	人件費支出	0
		事業費支出	6,543,787
		事務費支出	5,539,089
		事業活動支出計(2)	12,082,876
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)		332,960	
に施設整備等	収入	固定資産除却収入	0
		施設整備等収入計(4)	0
	支出	固定資産取得支出	0
		施設整備等支出計(5)	0
	施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)		0
その他の活動	収入	事業区分間繰入金収入	345,000
		その他の活動収入計(7)	345,000
	支出	事業区分間繰入金支出	0
		その他の活動支出計(8)	0
	その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)		345,000
予備費(10)		0	
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)		677,960	

前期末支払資金残高(12)	18,988,354
当期末支払資金残高(11)+(12)	19,666,314